

# 子宮頸部病理・コルポスコピー小委員会

## 子宮頸がん検診から診断・治療介入までの子宮頸部診療に関わる教育・普及活動と次世代の教育者育成を目的として設立

【委員長】藤井多久磨【副委員長】黒川哲司【委員】宇津木久仁子、小田瑞恵、森定徹、三上芳喜【顧問】植田政嗣

### 設立のコンセプト

先進諸国では子宮頸癌罹患率の減少が見られるのに対し、我が国ではその傾向がみられない。子宮頸癌撲滅のため子宮頸がんの病理・コルポスコピーに精通した、わが国の次世代を担う医師を育成することは婦人科腫瘍の分野において急務と言える。

イギリス、米国ではオフィスギネコロジーに関わる医師が上記の要精検者の診断、管理そしてLEEPなどの治療を行っている。そして、これに携わる医師に対する教育活動はBSCCP,ASCCP等の学術団体が担っている。我が国においては歴史的背景も踏まえ本学会がその役割を担うのが妥当である。

本委員会は研修会・教育セミナーを担当するだけでなく、コルポスコピー検査の質の保証担保のために指標提案を行う。

本学会が子宮頸部上皮内病変に対する教育・啓発活動において主導的な役割を果たすことで、腫瘍学会のプレゼンスも上がり会員の増加にも貢献する。

### 活動計画

- ① 次世代における指導者の育成
- ② 研修会プログラム
- ③ 教育コンテンツの作成
- ④ コルポスコピストの質の向上を目的としたquality indicatorの提言
- ⑤ 国際学会（IFCPC）との連携

	2022				2023				2024				2025										
	2022 (令和4) 年度				2023 (令和5) 年度				2024 (令和6) 年度														
	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
委員会設立 (2022年5月21日常務理事会での承認)	■																						
① 若手要員の育成																							
募集期間			■																				
WEB会議					■																		
② 研修会開催																							
第1回 (東京)								■	■	■													
第2回 (名古屋)											■												
第3回 (東京)																					■	■	■
③ 教育コンテンツの作成 (シニア/若手)																							
編集会議 (2023年1月, 6月, 12月, 2024年6月, 12月, 2024年12月)								■			■			■				■			■		
教科書完成																							■
④ コルポスコピー 質の保証 (QI) (若手)																							
WEB開催								■	■		■												
(2022年10月, 12月, 2023年3月, 7月, 2024年2月, 6月, 2025年2月)																							■
⑤ IFCPCとの連携																							
演題募集(予定)											■	■											
国際会議 (Colombiaで開催)																							■

### 委員募集

応募期間：2022年7月1日～7月31日

日本における子宮頸がん撲滅を目指し、日本婦人科腫瘍学会 教育委員会内に設置された小委員会です。教育セミナーの講師活動を中心に病理、細胞診、疫学、予防医学、婦人科腫瘍学も含め一緒に勉強していきましょう。そのほか、全国実態調査やコルポ検査に対する質の保証提言なども委員会活動に含めていきたいと思っています。今はあまり知識がなくても「やる気」ある若手メンバーを募集しています。可能であれば、将来、コルポ写真、病理組織、細胞診の画像を委員会に供出できる人が歓迎されます。応募期間は7月1日～7月31日です。委員としての**抱負を記載の上**、学会事務局宛てに別途申込用紙（ホームページに掲載されます。）記入の上、メール連絡してください。